

世界史 B

1 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

960年、後周の武将である（ 1 ）が皇帝（太祖）に即位して宋（北宋）をたて、大運河の物資集散の要衝である（ 2 ）に都を置いて、全国をほぼ統一した。宋では、官吏登用試験である（ 3 ）によって選抜した文人官僚を重んじる（ 4 ）の政治を行った。また、茶・塩・酒などの専売による国家収入は激増したものの、軍隊や官僚組織を維持する経費も増大し、国家財政は逼迫した。そこで、第6代皇帝の神宗は（ 5 ）を登用し、中小農民や小商人の保護、財源の確保、国防力の強化をはかる富国強兵の改革（新法）を行ったが、保守派の反対にあって中止され、政界は新法党と旧法党との党争によって混乱した。

宋はまた、遼や西夏、金など北方の諸王朝からの脅威にさらされ続けた。契丹（遼）が936年に獲得した（ 6 ）州を奪回するため、宋は1125年に金と結んで遼を滅ぼしたものの、その直後に（ 6 ）州を金に奪われた。これにより、宋は金との同盟関係を続けることに失敗し、金の大量軍によって首都（ 2 ）を占領され、1127年には皇帝欽宗など皇族や重臣たちの多くが捕虜として北方に連れ去られて、宋は崩壊した。江南にのがれた徽宗の子の高宗は同年に宋（南宋）を再興し、1138年に（ 7 ）を都とした。しかし金の攻撃ははげしく、軍事的に勝つ見込みにとぼしかったため、徹底抗戦をとる主戦派をやむなく処刑して、和平派の宰相のもとで、ほぼ淮河を境界とし、かつ金に対して臣下の礼をとるという条件のもとで1142年に和議を結び、毎年、多額の銀や大量の絹を贈ることを強いられた。

宋代にはこうした混乱があったものの、経済や文化の面では大いに発展した。中国北方の混乱を逃れて多くの人々が江南に移り住み、水利や土木の技術をもちいて長江デルタ地帯まで開拓の手がのびた。（ 8 ）と呼ばれた新興の地主層は、低湿地帯を大堤防で囲ったり、水路と堤防で干拓したりすることで水田の造成を行った。また11世紀ころに占城稻という生長の早い稲が伝えられ、台地や海岸部の水利の悪い土地でも栽培できるようになった。こうして、「蘇湖（江浙）熟すれば天下足る」といわれるほど、長江下流域の江蘇・浙江地方は大穀倉地帯となった。また儒学では、万物生成の理法や人間の本性を論理的に追究する宋学がおこり、なかでも道徳論を宇宙哲学より基礎づけた（ 9 ）が、その祖とされている。南宋の朱熹は宋学を大成し、君臣上下の秩序を絶対視する大義名分論をとるのと同時に、厳しい国際情勢に対応して、周辺諸民族に対する中華帝国の優位論を展開した。これがその後は儒学の正統とされ、日本や朝鮮半島などにも伝えられた。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 9 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、大運河の建設を初めて手がけた王朝は何か、答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、西夏をたてたチベット系民族は何か、答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、936年に朝鮮半島を統一した王朝の名前を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 新羅 イ. 高麗 ウ. 渤海 エ. 百済

問5 下線部(d)に関連して、宋(北宋)を滅亡させた、この一連の事件は何と呼ばれるか、答えよ。

問6 下線部(e)に関連して、「占城」はどの国をさすか。次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. アユタヤ王国 イ. クメール王国 ウ. シンガサリ王国 エ. チャンパー王国

問7 下線部(f)に関連して、このことから、朱熹が大成させた学問体系は何と呼ばれるか、答えよ。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

14世紀から16世紀にかけての西ヨーロッパでは、ペストの流行や戦乱により社会が危機的な様相を示すなかで、ギリシア・ローマの古典古代の学芸に立ち返って人間の理性や感性を重視する、ルネサンスと呼ばれ
 る動きが各地に広まった。この運動がはじめにおこったのは、イタリアである。毛織物業や金融業で栄え
 たフィレンツェでは、大富豪のメディチ家などが市民や芸術家を保護した。(1) はラテン語ではなく
 日常使われていたトスカナ語で『神曲』を著し、ペトルルカはすぐれた叙情詩をつくり、(2) は『デ
 カメロン』で人間の欲望や偽善を風刺した。15世紀末からフィレンツェの政治が混乱すると、メディチ家
 出身の教皇が文芸の保護者となってルネサンスの中心はローマに移った。この時期にマキアヴェリが著し
 た『(3)』は宗教的・道徳的理想と政治を切り離して論じ、のちの政治思想に大きな影響を与えた。イ
 タリアのルネサンスは16世紀のはじめに全盛期を迎え、「最後の晩餐」「モナ=リザ」で有名な(4)、壁
 画「最後の審判」を制作したミケランジェロ、聖母子像で有名なラファエロらが活躍した。

北イタリア諸都市と経済的に密接な関係を持っていたフランドル地方の諸都市でも、早くからルネサンス
 の動きがはじまった。油絵の技法を改良したファン=アイク兄弟はフランドル派の基礎をきずき、ブリュー
 ゲルは農民の生活を生き生きと描いた。(5) は『愚神礼讃』で教会を風刺したが、宗教改革には批判
 的であった。

ドイツでは「四人の使徒」を描いたデューラーが数多くの版画も残し、ホルバインは肖像画で有名となった。
 フランスでは(6) が社会や教会批判をもちこんだ『ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語』を著し、
 モンテーニュは『随想録』で人間の内面を深く省察した。イングランドでは、トマス=モアが『ユートピア』
 で当時の社会を風刺し、劇作家(7) は『ハムレット』『ロミオとジュリエット』など優れた作品を残
 した。

問1 文中の空欄(1)～(7)にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、中世のキリスト教的・禁欲的価値観を批判し、現世に生きる楽しみや人間の
 理性・感情を重視する思想を何というか、答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、ミケランジェロやラファエロも建築に携わった、現在のヴァチカン市国にあ
 るカトリックの総本山である、聖堂の名を答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、トマス=モアはある国王に大法官として仕えたが、国王の離婚に反対したため
 に処刑された。この国王の名を答えよ。

3 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

オスマン帝国は、16世紀までにアジア・ヨーロッパ・アフリカにまたがる広大な領土を獲得したが、1683年の第2次（ 1 ）に失敗して以降、領土の縮小が続いた。また、帝国内の諸民族から自立を求める運動が始まると、その動きを利用して勢力拡大をはかろうとするヨーロッパ列強の動きが複雑にからみ、オスマン帝国をめぐる紛争が頻発するようになった。こうした困難に直面したオスマン帝国は改革にのりだし、アブデュルメジト1世が、1839年に（ 2 ）とよばれる大規模な西欧化改革を開始したが、かえってヨーロッパ諸国による経済的な支配を強めてしまった。クリミア戦争後、国内では立憲運動が高まり、1876年に（ 3 ）憲法が公布された。しかしこの憲法は、ロシア=トルコ戦争勃発のため1878年に停止され、議会も閉鎖された。この戦争に敗れたオスマン帝国は、セルビアやルーマニアなどのヨーロッパ側の領土を大幅に失うことになった。

憲法停止に不満をいだく青年知識人・将校は、スルタンの専制に反対して「統一と進歩委員会」を結成した。彼らは1908年に（ 4 ）革命によって憲法を復活させたが、帝国に安定をもたらすことはできず、逆に混乱に乗じたオーストリアが（ A ）を併合する結果となった。またロシアもこれに対抗して、1912年にセルビアなど4か国からなる（ 5 ）を結成させ、2度にわたる戦争をへて影響力を拡大していった。このように、列強の利害と民族問題が複雑にからみあったバルカン半島は「（ 6 ）」と呼ばれる状態になった。1914年に勃発した第一次世界大戦では、オスマン帝国は同盟国側について参戦したが敗れ、セーヴル条約でアラブ地域を失ったうえ、列強による国土分割の危機に直面した。

こうした状況で、オスマン帝国の軍人である（ 7 ）がトルコ大国民議会を組織してたちあがり、1922年、占領された地をギリシア軍から奪い返し、スルタン制を廃止して、翌年にアンカラを首都とする（ 8 ）をたてた。同国の大統領となった（ 7 ）は、政教分離、太陽暦の採用、女性参政権の実施、ローマ字の採用など近代化を強くおしすすめた。また対外面では、1923年に旧連合国と（ 9 ）を結んで新しい国境を定め、治外法権の廃止、関税自主権の回復にも成功した。こうした功績から、（ 7 ）は1934年に大国民議会議から、「父なるトルコ人」を意味する（ 10 ）の尊称を与えられた。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 10 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 （ A ）にあてはまる地域名を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. コソヴォ イ. スロヴェニア ウ. ボスニア=ヘルツェゴヴィナ エ. クロアチア

問3 下線部(a)に関連して、この時期のこうした状況を総称して何と呼ぶか、漢字4字で答えよ。

問4 下線部(b)に関連して、クリミア戦争の戦地で傷病兵の看護にあたり、その後の看護制度の近代化に貢献したイギリスの女性看護師は誰か、答えよ。

世

- 問5 下線部(c)に関連して、ロシア=トルコ戦争後の講和条約で定められた内容に、オーストリア・イギリスが反発したことから開かれた会議は何と呼ばれるか、その名称を答えよ。
- 問6 下線部(d)に関連して、イギリス・フランス・ロシアの3国が1916年に、戦後のオスマン帝国領の分割を定めた秘密協定の名称を答えよ。

4 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

第二次世界大戦後、アメリカの通貨ドルは、(1) との交換性をもつ国際通貨として、世界経済を支えてきた。しかし、ベトナム戦争のための膨大な戦費が、アメリカの国際収支の悪化を促進し、ドル危機が深刻化するなかで、1971年、共和党のニクソン大統領は、ドルと(1) との交換停止を発表した(ドル=ショック)。これによりドルを中心とする国際通貨体制は動揺し、主要先進諸国の通貨は、1973年に固定相場制から(2) へと移行した。

1973年10月、エジプト、シリアとイスラエルの間で、(3) が起きた。この戦争に際してアラブ産油国は、反アラブの立場をとる国への石油供給を制限あるいは停止し、石油価格を大幅に引き上げる戦略に出る。安価な石油に支えられてきた先進諸国の経済は、大きな打撃を受けた(第1次石油危機あるいはオイル・ショック)。以上のような通貨や資源をはじめとする国際経済上の危機に対応するため、1975年以降、関係国の持ち回りで毎年(4) が開催されるようになる。

(3) で疲弊したイスラエルとエジプトはその後歩み寄り、1979年にアメリカの(5) 大統領の仲介で、エジプト=イスラエル平和条約が結ばれた。その結果、シナイ半島はエジプトに返還されたが、和平を導いたエジプト大統領(6) は、イスラエルとの和平に不満をもった過激なイスラーム主義者に暗殺された。そして、1979年にイラン革命が起きた結果、アメリカとイランの対立が激しくなり、石油価格が急騰した(第2次石油危機)。この革命の波及を恐れたイラクの(7) 大統領は、1980年にイランに侵攻し、イラン=イラク戦争が始まった。

問1 文中の空欄(1) ~ (7) にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、同大統領任期中に起きた事象として**正しくないもの**を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. アメリカ軍のベトナム撤退 イ. ウォーターゲート事件 ウ. 米中国交正常化
エ. 第1次戦略兵器制限交渉(SALT I)

問3 下線部(b)に関連して、1968年にサウジアラビア・クウェート・リビアによって設立された、アラブ系産油国の協力組織の名称を答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、革命によって成立したイラン=イスラーム共和国の最高指導者となり、イスラーム法と国政の一体化に努めた人物は誰か、答えよ。